

第29回

JET世界まつり2024

Let's Go! ~未知の世界へ~



報告書

A Report on the JET World Festival 2024



日時：2024年2月18日 11:00~16:00

場所：サンフォルテ（富山市湊入船町）

主催：AJET JET世界まつり2024実行委員会

JET 世界まつり 2024 実行委員紹介

実行委員長

Chair



Aline Yamashita
(Brazil)

県国際課 ブラジル国際交流員 アリーネ ヤマシタ



Q. 出身地はどこですか？

A. ワインの産地として知られているサンパウロ州サンロッケ市です。アーティチョークという野菜も有名です。

Q. 日系ブラジル人あるあるを教えてください。

A.1. 日本にいてもブラジルにいても外国人扱いされること
2. ブラジルで生まれ育ったのに日本のことや日本語に関する質問をされる
3. 「日系人＝優秀」だと思われるので、小さいころから期待され、期待に応えることができなかつたら、「日本人の血を受け継いでいるのになぜ日本人のように優秀ではないの」と問われます。

Q. 富山県に住んでよかったと思うところは？

A. 新鮮でおいしい魚が手軽に買えることです。私がブラジルに住んでいた地域では、魚を食べる習慣があまりなく冷凍された魚が多く、種類も少なかったです。

副委員長

Vice-Chair



Nguyen Thi Thao
(Vietnam)

県国際課 ベトナム国際交流員 グエン ティ タオ



Q. 出身はどこですか？

A. ベトナムの首都のハノイから来ました！

Q. 富山での生活でびっくりしたことは何ですか？

A. 富山に初めて来た日、びっくりしたのは路面電車です。前回東京に1年間留学したので、東京のように電車や地下鉄が走っているかと思ったからです。ある日、最寄り駅に行こうと思った時に無意識に下り階段を探していて、なかなか見つからなくて、「あ、路面電車だから駅も路面にあるんだ」と悟りました笑

Q. 富山の好きなところは何でしょうか？

A. 富山の好きなところといえば、自然が豊かな点です。出身地のハノイは海に面していない平野にある都市なので、市内から山も見えないし、海もなかなか遠いところにあります。ですが、富山に住んでいたら、毎日山も眺められるし気分次第で海に行きたくなったら直ぐ行けるし、すごく嬉しいです。

副委員長

Vice-Chair



Sirilalitya Bhagavatula
(India)

県国際課 インド国際交流員 バーガワトゥラ シリラリティア



Q. 出身はどこですか？

A. 生まれたのはインド南部のアンドラ・プラデシュ州ですが、その後6年間隣のタミル・ナドゥ州のチェンナイ市に住んでからカルナータカ州のベンガルール市に引っ越ししました。全部南インドの州なので純然たる南インド人です！

Q. 富山の好きなところは？

A. 富山の大自然です！水彩で風景画を描くのが好きで、県内色んなところに行って絵を描こうとしています。

Q. インド人って毎日カレー食べますか？

A. はい、毎日昼食と夕食にカレーを食べます！でもカレーは数えきれないほど種類があるので全然飽きません！

目次

Contents

JET 世界まつり 2024 はじめに	
JET World Festival 2024 Introduction.....	4
JET 世界まつり 2024 概要	
JET World Festival 2024 Overview.....	6
広報活動・ボランティア募集	
Promotion and Volunteer Recruitment.....	8
ステージパフォーマンス	
Stage Performances.....	10
国際ブース	
International Booths.....	12
ミニ言語カフェ	
Mini Language Cafe.....	14
English チャット	
English Chat.....	16
世界いろいろ体験コーナー	
Multicultural Experience Workshops.....	18
キッズコーナー	
Kids' Corner.....	20
JET アート&デザイン展	
JET Art & Design Exhibit.....	22
写真コンテスト	
Photo Contest.....	24
JET 世界まつり 2024 プログラム	
JET World Festival 2024 Program.....	27
JET 世界まつり 2024 アンケート及び来場者の声	
JET World Festival 2024 Survey and Visitor Feedback.....	28
参考資料.....	30
● 「語学指導等を行う外国青年招致事業(JET プログラム)」について	
● 富山県内の JET 参加者について	
● 「JET 世界まつり」について	
● 「とやま名誉友好大使」について	
● AJET (The Association for Japan Exchange and Teaching)	

はじめに

JET 世界まつり 2024 実行委員長
アリーネ ヤマシタ (ブラジル)

JET 世界まつりは毎年開催しており、今年は 29 回目となりました。県内の JET プログラム国際交流員（以下「CIR」という）が計画し、外国語指導助手（以下「ALT」という）や留学生、一般県民が力を合わせて運営する国際交流フェスティバルです。



今年のテーマは「Let's go! ~未知の世界へ~」でした。JET プログラム参加者を中心とした県内外国人の実施する企画を通して、富山で様々な国・地域の人々と交流し、世界の文化に触れて、一緒に楽しみながら「未知の世界」を知る機会を提供したいと思い、このイベントを開催しました。

今年は、5年ぶりにサンフォルテで開催することになりました。当日、快晴で冬とは思えない温かさに恵まれました。実行委員会は、12人の国際交流員で結成し、イベント経験者が多く、皆一丸となり、去年よりスムーズに準備を進めることができましたと思います。開催日が近づくにつれて、急な予定変更もあり、負担が大きくなってしまいましたが、皆で協力し合いながら会場運営もスムーズにできたと思います。

今年企画したコーナーは、毎年恒例の国際ブース、世界いろいろ体験コーナー、ステージパフォーマンス、ミニ言語カフェ&JET Talks、English チャット、JET アート&デザイン展、写真コンテスト、3年ぶりのキッズコーナー、そして新企画として富山県との提携先の写真展示でした。来場者向けにアンケートも実施しました。

当日、約 120 名のボランティア及び約 400 人の来場者のおかげで、成功を収めました。JET 世界まつり 2024 にご協力いただいた皆様に、実行委員会一同心より感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。来年もぜひご参加ください。

Introduction

Aline Yamashita (Brazil)

Chair, JET World Festival 2024 Executive Committee

This year marked the 29th annual JET World Festival, a non-profit event organized by Coordinators for International Relations (CIRs) of the JET Programme within Toyama Prefecture with the assistance of Assistant Language Teachers (ALTs), international students, and other prefectural residents.

This year's theme was "Let's go! ~Into the Unknown~." Our aim was to provide an opportunity for prefectural residents to enjoy exploring the "unknown world" together and to interact with people and cultures from around the world, all without leaving Toyama Prefecture.

This year, we chose Sunforte as the venue for the first time in five years. On the day of the festival, we were lucky to have clear skies and unseasonably warm weather. The Executive Committee consisted of 12 CIRs, the majority of whom had previous experience in organizing the festival. The committee worked together well, and I think the preparations went more smoothly than last year. There were some sudden schedule changes as we approached the festival date, but committee members cooperated to ensure that their corners ran smoothly.

We set up our usual corners this year: International Booths, Multicultural Workshops, Stage Performances, Mini Language Cafe & JET Talks, English Chat, JET Art & Design Exhibit, a Photography Contest, a Kids' Corner (for the first time in three years), and a new section, the Sister States of Toyama Prefecture Photo Exhibit. We also created a survey to collect feedback from visitors.

Instrumental to the success of this year's festival were our 120-odd volunteers and approximately 400 visitors. The Executive Committee would like to give a heartfelt thanks to everyone who participated in JET World Festival 2024. We hope to see you again next year!



JET 世界まつり 2024 概要

- 1 目 的 「語学指導等を行う外国青年招致事業(JET プログラム)」により来県し、国際交流員(CIR)や外国語指導助手(ALT)として活躍中の外国青年(JET 参加者)たちが、出身国について紹介し、富山県民の異文化に対する理解を深めるとともに、JET 参加者と県民との交流を図る。
- 2 主 催 AJET JET 世界まつり 2024 実行委員会
- 3 後 援 富山県、富山県教育委員会、(公財)とやま国際センター、富山市、富山市教育委員会、北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、毎日新聞富山支局、中日新聞富山支局、NHK 富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、富山県ケーブルテレビ協議会、富山エフエム放送
- 4 日 時 令和 6 年 2 月 18 日 (日) 11:00~16:00
- 5 会 場 富山県民共生センター サンフォルテ
- 6 内 容 ステージパフォーマンス、国際ブース、ミニ言語カフェ、English チャット、世界いろいろ体験コーナー、キッズコーナー、写真コンテスト、JET アート & デザイン展示

7 実行委員

委員長	アリーネ ヤマシタ (ブラジル)	県国際課	国際交流員
副委員長	グエン ティ タオ (ベトナム)	県国際課	国際交流員
副委員長	バーガワトゥラ シリラリティア (インド)	県国際課	国際交流員
委 員	イ ヘミン (韓国)	県国際課	国際交流員
	アリス リース (アメリカ)	県国際課	国際交流員
	ジェイデン リッチ (アメリカ)	入善町	国際交流員
	ボルデュリョワ タチアナ (ロシア)	県国際課	国際交流員
	グラント ロイド (アメリカ)	南砺市	国際交流員
	鄒 超 (中国)	県国際課	国際交流員
	孫明明 (中国)	県国際課	国際交流員
	プレストン プーン (カナダ)	高岡市	国際交流員
	ルーカス カーマイケル・タナカ (アメリカ)	黒部市	国際交流員

JET World Festival 2024 Overview

1. Purpose

Japan Exchange and Teaching Programme (JET Programme) participants working as CIRs and ALTs in Toyama Prefecture will showcase features of their home countries to deepen prefectural residents' understanding of foreign cultures and promote interaction between residents and themselves.

2. Organizers AJET JET World Festival 2024 Executive Committee

3. Supporters

Toyama Prefecture; Toyama Prefectural Board of Education; Toyama International Center; Toyama City; Toyama City Board of Education; Kitanippon Shimbun; Toyama Shimbun; Yomiuri Shimbun Hokuriku Branch; Mainichi Shimbun Toyama Branch; Chunichi Shimbun Toyama Branch; NHK Toyama Broadcasting; Kitanihon Broadcasting Co., Ltd; Toyama Television Broadcasting Co., Ltd.; Tulip-TV Inc.; TOYAMA Cable Television Association; Toyama FM Broadcasting Co., Ltd.

4. Date February 18, 2024 (Sunday), 11:00–16:00

5. Venue Toyama Prefectural Community Center Sunforte

6. Festival Activities

Stage Performances, International Booths, Mini Language Cafe, English Chat, Multicultural Experience Workshops, Kids' Corner, Photo Contest, JET Art & Design Exhibit

7. Executive Committee

Chair	Aline Yamashita (Brazil)	Toyama Prefecture International Affairs Division CIR
Vice-Chair	Nguyen Thi Thao (Vietnam)	International Affairs Division CIR
Vice-Chair	Sirilalitya Bhagavatula (India)	International Affairs Division CIR
Members	Haemin Lee (South Korea)	International Affairs Division CIR
	Alice Rees (USA)	International Affairs Division CIR
	Jadon Ricci (USA)	Nyuzen Town CIR
	Tatiana Borduleva (Russia)	International Affairs Division CIR
	Grant Lloyd (USA)	Nanto City CIR
	Sou Chao (China)	International Affairs Division CIR
	Mingming Sun (China)	International Affairs Division CIR
	Preston Poon (Canada)	Takaoka City CIR
	Lucas Carmichael-Tanaka (USA)	Kurobe City CIR

広報活動・ボランティア募集

アリーネ ヤマシタ (ブラジル)



今年の JET 世界まつりは例年と同様に JET プログラム参加者を中心として運営しました。8 月に行われた勤務及び生活に役立つ知識や情報などを提供する「富山オリエンテーション」や 11 月に行われた ALT の指導力等向上研修で JET 世界まつりの紹介と宣伝を行い、ALT ボランティア募集のチラシをそれぞれの研修等で配布しました。そして、すべての JET-ALT に 11 月からメールでボランティア募集を始めました。その他、県費留学生、ふれあい日本語教室たかおか、JET プログラム参加者と関りがある一般県民の協力もいただきました。当日参加のボランティアを加えると約 120 人のボランティアに協力していただきました。

広報活動のためのポスターやチラシは、富山県インド CIR のシリさんに作成していただきました。例年通り県内の全ての市町村の小・中・高等学校、支援学校、短大、大学などに送付しました。また後援をいただいている富山県庁、とやま国際センター、会場となったサンフォルテや富山県民会館などの施設にもポスターやチラシを置かせていただきました。各 CIR も友人や同僚、語学講座の受講生などに宣伝し、富山県内の新聞やケーブルテレビ富山でもイベントの告知をさせていただきました。SNS も活用して JET 世界まつりの公式ホームページ、フェイスブックとインスタグラムに宣伝しました。



- 公式ホームページ：<https://toyamazing.wordpress.com>
- フェイスブック：www.facebook.com/jetworldfestival/
- インスタグラム：www.instagram.com/jetworldfestival/

最後に、今後のより良い JET 世界まつりのために、ご来場の皆様にアンケートの協力をお願いしました。友人・知人を介して知った方が多く、これからもそのネットワークを広げ、JET 世界まつりの知名度を高め、アンケートにご記入していただいた貴重なご意見は来年の参考にさせていただきます。広報活動に協力した皆様、ボランティアの皆様にご心より感謝申し上げます。

Promotion and Volunteer Recruitment

Aline Yamashita (Brazil)

As with previous years, we focused our volunteer recruiting efforts on JET Programme participants. We introduced and promoted JET World Festival 2024 at the August Toyama Orientation for sharing useful information for work and daily life in Toyama during the CIR-led Discover Toyama presentation. We also distributed a flyer calling for volunteers at the ALTs' Teaching Skills Development Seminar in November. We then sent a follow-up email to all JET ALTs in the prefecture within the same month. In addition, we reached out to foreign exchange students, Fureai Takaoka Japanese language class staff, and acquaintances of JET Programme participants. In total, there were around 120 volunteers who helped on the day of the festival.

Our promotion poster was designed by Siri, the Toyama Prefectural Government's Indian CIR. As in previous years, we sent these flyers to the Boards of Education and departments in charge of international exchange in all the prefecture's municipalities. We also sent flyers to all elementary, middle, and high schools; special schools; junior colleges; and universities in Toyama. Additionally, we distributed posters to our sponsor, the Toyama International Center; Toyama Prefectural Hall; Sunforte (the festival venue); and the Toyama Prefectural Civic Center. CIRs promoted the festival to their friends, colleagues, and students, and the Executive Committee placed advertisements on Toyama Cable Television and in newspapers within the prefecture. We also used social media to promote the event on Facebook, Instagram, and the JET World Festival website.

- Official website: <https://toyamazing.wordpress.com>
- Facebook: www.facebook.com/jetworldfestival/
- Instagram: www.instagram.com/jetworldfestival/

At the festival, we gave out a survey to visitors. According to survey results, many visitors heard about the event through their friends, so we will continue to expand that network for the JET World Festival to be more widely known. The survey responses will be a useful reference as we prepare for next year's festival. We would like to thank to our volunteers and everyone who helped with promotion.



ステージパフォーマンス

アリス リース (アメリカ)

スウ チョウ (中国)

2024年のステージパフォーマンスは、富山市サンフォルテのホールにて写真コンテスト及びアート&デザイン展示と共に開催しました。現役JET参加者、元JET参加者、とやま国際交流センターの中村さん、そして県人の皆様方のご協力のおかげで、会場は大変にぎやかで、成功を収めたと言えます。

今年も演目がたくさんありました。元CIRのジョーイさんや地元の皆さんの三味線と琴の演奏、県内の居合道部の皆さんの演武、ALTの方の歌など、とても素晴らしかったです。中村さんのマジックショーの時、会場はすごく盛り上がっていました。続いて、ファッションショー、ベトナム県人会のバンブーダンス、高岡市在住のブラジル出身のマナワラグループの民族ダンスで、会場の気分が最高潮に達していました。



反省点を挙げるとしたら、ベトナム県人会の演目の時に中々音源が繋がらず、すごく時間がかかって、観客の皆さんにご迷惑をお掛けしたことです。今後、連携、コミュニケーションを密にして次年度以降改善していきたいです。

今年は資金不足という問題に直面し、ボランティアの数も足りない中、みんなで連携して、なんとか無事にステージパフォーマンスを行うことができました。今年の経験が今後に繋がれば幸いです。何と云っても、橘先生、CIR全員、ALTの皆さんによる努力、そして地元のすべての出演の方々、サポーターの方々のご協力なしでは、ステージパフォーマンスの成功はありませんでした。皆様方、本当にお疲れ様でした。心より感謝申し上げます。



Stage Performances

Alice Rees (USA)

Chao Zou (China)

This year's Stage Performances were held in Sunforte's 2nd Floor Hall, directly past the second-floor reception desk. This space also housed the Photo Contest and Art & Design Exhibit, making it one of the first places that guests visited after arriving at the venue. Since JET Talks were moved to be a part of the Mini Language Cafe, we were able to present a full program of Stage Performances with contributions from current and former JETs as well as members of the community with ties to Toyama's foreign residents, such as the Toyama Prefecture Vietnamese Association and the dance group manawara, made up of members from around Brazil.



Many aspects of Japanese culture were also showcased through the JET community, such as iaido by the Toyama Kendo Federation Iaido Club (introduced to JET Fest by our Russian CIR, Tatiana), kouta shamisen performed by former Takaoka CIR Joey Zhu and her teachers, and koto from three ALT members of the Takaoka-based Hoshi no Kai. We also had JETs present their cultures through song, such as a trilingual rendition of "Country Roads" from Toyama City and Kamiichi ALTs Jasmin Moreno, Alex Galdamez, and Genesis Barrios, as well as three Appalachian folk and blues pieces sung by Himi ALT Anna Adams.



We additionally continued the tradition of holding a multicultural fashion show that began last year, with participants from Canada, China, the UK, Vietnam, Ukraine, and Indonesia showing their unique fashions. Our annual favorite magician, Mr. Norick, also delighted the audience with displays of juggling and magic tricks. The audience particularly enjoyed his set and grew throughout the afternoon. Next year, we hope to have an even balance of both JETs and non-JETs participating in Stage Performances. We would like to express our sincerest gratitude to all our performers and our highly responsible volunteers, all of whom contributed to making this year's Stage Performances a success.



国際ブース

イ ヘミン (韓国)
プレストン プーン (カナダ)

今年の国際ブースは合計 18 あり、その内訳は、イギリス、中国、カナダ、韓国、ブラジル、ベトナム、インド、ロシア、アメリカ、オレゴン、エルサルバドル、ジャマイカ、南アフリカ、アイルランド、インドネシアの 14 ャ国と 1 つの地域ブース及び AJET が運営する雑誌 TRAM と 2 つの国際交流団体（高岡市国際交流協会、南砺友好交流協会）でした。



それぞれのブースでは簡単な遊びやお菓子の試食、観光ガイドの配布など、展示だけではなく来場者と交流できる多様な活動が行われ、一日中賑わいました。楽しい交流の場を作ることができたと思います。今年の国際ブースは English Chat と同じ研修室で実施しましたが、Chat に興味がある人やブースに興味がある人が自然に相互のコーナーに立ち寄る雰囲気になり、両コーナーが相乗効果を得られた良い配置だったと思います。

国際ブースの準備は昨年の 12 月から始めました。まず、ボランティアたちが希望するブースの内容を確認しました。それから、今までは要望があるときだけ対応していましたが、今年はブースの準備の際にプリントやラミネート等が必要であればこちらで手伝えるとの連絡を送り、ボランティアたちがより負担を感じることなくブースの準備に専念できるよう心掛けました。実際、資料のプリントやラミネートの要請が多数ありました。最後にブース立ち上げ・休憩・撤去など当日の流れを説明する案内ガイドを作り、ボランティアたちが事前にその内容を把握できるようにしました。そのおかげか、当日は大きな混乱なくブースの運営ができたと思います。ご協力いただいた皆様、来場者の皆様へ改めて深く感謝申し上げます。また、来年お会いしましょう！



International Booths

Haemin Lee (South Korea)

Preston Poon (Canada)

There were 18 booths this year, with 14 country booths and one region booth (Oregon) alongside booths for AJET, which runs the TRAM magazine; the Takaoka International Exchange Center; and the Nanto Goodwill Exchange Association. This year's countries were the UK, China, Canada, South Korea, Brazil, Vietnam, India, Russia (display only), the USA, El Salvador, Jamaica, South Africa, Ireland, and Indonesia. We believe that we were able to create a fun environment for cultural exchange, as the booths were lively the whole day. Each booth had activities that allowed for interaction between hosts and visitors, such as simple games or snack sampling, along with displays and distribution of travel guides.



The displays were in the same room as the English Chat this year, which benefited both corners by enabling visitors to move between them easily.

We started preparing for the international booths in December of last year. First, we reviewed what the volunteers wanted to display. Next, we informed volunteers via email that we could help print and laminate materials for their displays if needed, and indeed, there were many printing and lamination requests this year. For previous JET Fests, printing and



lamination were only provided upon request; however, this year we worked towards reducing the burden on the volunteers and dedicated ourselves more to booth preparations. Lastly, we created an event-day guide for booth volunteers to inform them of event-day specifics beforehand. This guide provided explanations on various details, such as display setup and take down, how to take breaks, and the overall schedule. We

believe that this helped the corner, as there was no confusion on the event day.

Thank you to all the volunteers, staff, and visitors for coming to this year's JET Fest! We hope to see you all next year!

ミニ言語カフェ

バーガワトゥラ シリラリティア (インド)

今年も「ミニ言語カフェ」は来場者が楽しめる場所だけでなく、多文化について新しいことを学べる場所になりました。去年と同じく、英語以外の4か国語（ヒンディー語、韓国語、ベトナム語、スペイン語）のミニレッスンを行いました。それに加えて、JET 参加者が好きなトピックについて講演する「JET Talks」も2つ行われました。各レッスンの参加者は、その国のお菓子とお茶のティーバッグが入ったお土産を持ち帰りました。お土産は、参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、その国の文化をより深く楽しんでもらうために今年のJET 世界まつりに配ってみました。



冒頭のヒンディー語のレッスンでは、参加者はヒンディー語での自己紹介の仕方や、ヒンディー語の文字での名前の書き方を学びました。次の韓国語のレッスンでは、韓国で観光客に役立つフレーズが紹介されました。その後、アメリカ建国の父ジョン・アダムスについて、そしてマルチリンガルな脳と言語習得の秘密について、2つのJET Talks が行われました。その後ベトナム語のレッスンで、基本的な表現と発音が紹介されました。最後にはスペイン語のレッスンが行われ、参加者はスペイン語で色を学びながらビンゴゲームを楽しみました。

会場の都合上、各レッスンの参加者の上限は20名でした。レッスンとJETトークは20分から30分で、毎回15人以上の来場者が参加し、特に韓国語のレッスンと言語習得のJETトークは満員でした。参加者が発表者と楽しく交流できたことが、レッスンの枠を超えてもっと学びたいという関心を持ってもらうことにつながり、とてもうれしいです。来年のJET 世界祭りも、ミニ言語カフェがより多様な言語レッスンとトークテーマで再登場することを願っています。ミニ言語カフェに協力していただいた皆様に感謝を申し上げます。

Mini Language Cafe

Sirilalitya Bhagavatula (India)

This year's JET World Festival saw the return of the popular Mini Language Cafe corner as a space for visitors who wanted to have fun while learning about different cultures. Following last year's approach of featuring languages other than English, the program included mini lessons on Hindi, Korean, Vietnamese, Spanish, and two "JET Talks"—special talks by JET Participants—on a topic of their choosing. True to the name "cafe," participants of each language lesson took home a souvenir packet containing a small snack and some tea from the associated country. The souvenirs were introduced to thank the participants and give them a chance to enjoy the culture of the country on a deeper level.



In the opening lesson, participants learned how to introduce themselves in Hindi and write their names in the Hindi alphabet. The next lesson, on Korean, was an introduction to helpful phrases for tourists visiting South Korea. We then had two JET Talks, one about American founding father John Adams and another on how to become a better language learner. Following the JET Talks was a Vietnamese lesson covering basic expressions and pronunciation. The cafe closed with a lesson in which participants played bingo while learning colors in Spanish.



The number of participants was capped at 20 people due to the limits of the venue. The lessons and talks were 20 to 30 minutes long and all were nearly full, with the JET Talks and the Korean lesson being especially popular. It was great to see participants interact with the presenters and express interest in learning beyond the scope of the lesson. I hope the Mini Language Cafe will return next year with even more diversity in the languages featured!

English チャット

バーガワトゥラ シリラリティヤ (インド)

English チャットコーナーは、昨年の JET 世界まつり 2023 で初めて設けられ、幅広い年齢層の来場者に好評でした。今年の JET 世界まつり 2024 で再び開催するのは自然な流れでした。

昨年同様、来場者が個人でもグループでも参加でき、いくつかのテーブルのどれかに自由に座り、そのテーブルに座っているボランティアと英語で気軽に会話することができました。話題がいつでも見つかるように、色々なテーマの質問カードが各テーブルに用意してありました。



国際ブースの部屋の一角でテーブルが三つ置かれ、ブースの来場者を含めて誰でも自由に参加できるように部屋の入口の前に設置されました。1 時間単位の 4 つのシフトで、各テーブルに 1 人か 2 人のボランティアがつき、13 人の会話ボランティアと 2 人のコーナーマネジャーの ALT (外国語指導助手) によって運営されました。また、ボランティア自身に興味を持ってもらうため、テーブルの横にボランティアの自己紹介がパネルで掲示されました。



昨年の課題のひとつは、最初の時間帯に参加者を集めることだったので、今年はコーナーマネジャーを置き、コーナーの宣伝と通りかかる来場者に参加を促すようにしました。これが功を奏し、最初の時間帯にも参加者を集めることができました。コーナーは一日中賑やかで、たくさんの会話と笑い声が聞こえました。English チャットコーナーは、来場者と JET 参加者が交流し、お互いの文化や世

界観を理解しあうための素晴らしい場であり、JET 世界まつりが推進するコミュニティ形成と異文化交流の精神に共鳴するものだと思います。今後の JET 世界まつりでもこのコーナーが設けられ、参加者とボランティアがもっと楽しく交流できるようになることを願っています。今年の English チャットコーナーの開催に協力してくださった皆さんに感謝を申し上げます。

English Chat

Sirilalitya Bhagavatula (India)

The English Chat corner was first introduced at JET World Festival 2023 and proved to be very popular with visitors of all ages. It was a natural choice for us to hold it again at this year's JET World Festival 2024. Like last year, participants could freely sit at any one of several tables and have a casual conversation in English with the volunteer sitting at that table. Visitors could participate individually or in a group. Cards with conversation prompts were provided so that the group would always have something to talk about.

The chat corner was set up alongside the International Booths in the same room, allowing visitors to the booths easy access to the chat area. The corner used three tables, each staffed by one to two volunteers who worked for an hour at a time. A total of 13 volunteers participated in the corner this way, along with two corner managers. To generate interest in the volunteers themselves, a series of panels next to the tables displayed information about the volunteers.



As one of the issues last year was generating enough interest during the first hour of the festival, this year we made sure to have corner managers who would advertise the corner and encourage passersby to join in. This proved to be a good idea, as we were able to find interested participants even for the first hour. The corner was busy throughout the day, as participants and volunteers shared lots of conversation and laughter. The English Chat corner is a wonderful way for visitors and JET participants to interact and share their cultures with each other, which resonates with the spirit of community building and intercultural exchange that the JET World Festival promotes. I hope that future versions of this corner will bring newer and more fun ways for participants to interact with each other. I deeply thank all the volunteers who helped run the corner and make it a successful part of JET World Festival 2024.

世界いろいろ体験コーナー

ボルデゥリョワ タチアナ（ロシア）

ジェイデン リッチ（アメリカ）

今年の世界いろいろ体験コーナーは去年のとおり、準備に時間がかかりましたが、多くの来場者が参加した人気のあるコーナーでした。



JET 世界まつりのボランティアからのアイデアを受けることもあり、一緒に相をしながらコーナーを作り上げました。今年、体験コーナーは一部屋で実施し、体験の種類は、クラフト系体験と体を動かすダンス体験の、二種類がありました。

ダンス体験にはメキシコのフォークダンス、アメリカのスクエアダンスとヒップホップダンス、ベトナムのバンブーダンス、カナダのフォークダンスなどがあり、事前準備はほとんどボランティアが行いました。人の前で踊るのは少し恥ずかしいこともあったようで、各体験には約5～10人ぐらいの参加でしたが、参加された方はすごく楽しまれたようで、体験後にも再度参加された方も結構いらっしゃいました。コーナーはうまく進行されていたとは思いますが、振り返ってみると、参加したいと思っているが、恥ずかしくて参加をためらっている方もおられるため、担当者が元気よく話しかける必要があると思います。

クラフト体験も大人気でしたが、ダンスの方よりもスタッフの事前準備や当日の作業が必要になります。今年のクラフトはベトナムと中国のランタン作り、ウクライナとブラジルの人形作り、ヘナ、砂絵、キルト作りの体験などがありました。特にランタン作りの事前準備がかなりあり、まつり当日のずいぶん前から必要物品の準備や、作成をしなければなりません。当日も、クラフトの作り方などを参加者に説明しなければならない時もあるため、担当者も積極的に参加することになります。



毎年、体験コーナーはとても人気があるコーナーであり、参加者でも担当者でも楽しめるので、ぜひ機会があれば来年も参加してみてください！

Multicultural Workshops

Tatiana Borduleva (Russia)

Jadon Ricci (USA)

This year's multicultural workshop corner was just as successful and busy as last year's, with many people coming to participate in each workshop.

To begin the process of planning the corner, we first contacted everyone who expressed interest in participating and discussed their ideas for what kind of workshop they would like to give. This year we had two kinds of workshops in the same room: arts and crafts workshops and dance workshops.

The dance workshops included Mexican folk dance, American hip-hop and square dancing, a Vietnamese bamboo dance, and a Canadian folk dance. For this section of the workshop, few materials needed to be prepared in advance, so we were able to leave most of the preparation up to the volunteers themselves. Although many people seemed shy to dance in front of others, there was a steady stream of participants, around five to ten at any given time. Those who participated seemed to be having a great time, enough so that many would stick around until the next workshop and participate in that as well. Though this section of the corner went very well, it could be improved by having someone around to convince people to join the dances, as many people are too shy to join on their own.



The crafts section of the corner also went very well but required much more preparation beforehand. The crafts workshops included Ukrainian and Brazilian doll making, Vietnamese and Chinese lantern making, a henna workshop, a sand-drawing workshop, and a quilt pattern-making workshop. Many of the workshops, particularly the lantern-making ones, required materials and even semi-finished crafts to be prepared before the day of the festival, so much time had to be taken to complete these preparations. In addition, while the volunteers for the dance section could often be left on their own to demonstrate the dance, a CIR or someone who spoke Japanese had to be present at the crafts section the entire time to ensure that the participants could understand the instructions given to them.



Overall, both the dance and craft workshops were very fun to participate in, and all the people who came and joined in seemed to enjoy themselves as well. Do participate in the workshops if you get the chance!

キッズコーナー

グエン ティ タオ (ベトナム)

グラント ロイド (アメリカ)

今回の内容は過去にもあったツイスター、トゥホ、かえるさんジャンプ、パズル、ビーズアート、フェイスペインティング、マジックショー、風船アート、スノーフレーク作りのほかに、入善町 CIR ジェイデンさんが考案した「忍者ゲーム」を新しく追加しました。予算が限られている中で多くの物資がすでに富山国際センター (TIC) の倉庫にあり、助かりました。次回以降もあるものを活用し、プログラムを組むアプローチをおすすめします。



当日は12時まで来場者が少なく、昼以降は徐々に増えてきましたが、混雑することはありませんでした。ただし、ビーズアートは大人気で、テーブル3台も用意しましたが最初から満員に近い状態でした。アイロンかけを必要とするビーズアートでしたが、担当ボランティアには、子どもにアイロンをかけさせない、触らせないことを留意点として伝えました。

ノリックさんのマジックショーと風船アート、フェイスペインティングも人気でした。フェイスペインティングは絵のサンプルを用意し、その中から選んでもらうようにしましたが、顔に描かれるのが嫌な子どもが多かったので、次年度以降の改善点としては、手に描く絵をもっと用意することが考えられます。忍者ゲームは、保育園児向けに考案されたものですがそのまま世界まつり来場者の幅広い年齢層に対応させることが難しく、やり方を変えるなど工夫が必要です。また、静かになる時間帯もあったため、BGMの導入を検討したほうがいいかもしれません。



今回は責任感の強いボランティアの熱心なご協力のおかげで準備・開催とも円滑に進めることができ、キッズコーナーを成功に導くことができました。ご協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。

Kids' Corner

Nguyen Thi Thao (Vietnam)

Grant Lloyd (USA)

We presented a Ninja Game activity created by Nyuzen CIR Jadon alongside Kids' Corner activities from previous years (Twister, tuho, Frog Jump, puzzles, bead art, face painting, a magic show, balloon art, and paper snowflake making). Our budget was limited, but we were fortunate to find most of the materials we needed in the storeroom of the Toyama International Center (TIC). We highly recommend planning the program to take maximum advantage of materials already on hand.

The corner saw few visitors in the first hour of the festival, but attendance increased gradually going into the afternoon. Even so, the corner was never crowded, except for the bead art section. The three tables that we allocated to this area were nearly full shortly after the festival opened. The beads required ironing, so we instructed volunteers not to allow children to touch the irons or iron their own bead art.

Mr. Norick's magic show and balloon art events were also popular, as was the facepainting table. Here, we provided sheets of sample designs for children to choose from. However, many of the children did not want their faces painted on. This section could be improved by providing more designs for children's hands. The Ninja Game, meanwhile, was originally designed for preschoolers, but this year's Kids' Corner visitors were children of all ages. We found that making the game entertaining for everyone required some effort, since we had to be creative about how we presented it. We did not play background music this year, but future organizers may want to play background music to keep the corner from becoming too quiet.

We owe the success of this year's Kids' Corner to our dedicated and proactive volunteers. Your enthusiastic cooperation allowed us to plan and execute the corner smoothly. Thank you for your help!



JET アート&デザイン展

孫明明（中国）

ルーカス カーメイケル・タナカ（アメリカ）

今年、県内の JET 参加者はアート&デザイン展に作品やポエム（詩）を提出してくれました。提出者が4人で、12枚の作品を展示しました。アート作品の中には、電子作品、水彩、スケッチなどもありました。ポエム（詩）には英語と日本語の俳句がありました。

作品の返却について、多くの提出者が当日コーナーのボランティアをしたおかげで、片付けの間に自分の作品を取って行ってくれました。残りの一人が受け取りに来なかったので、代わりに彼女の知人が預かってくれました。今後の世界祭りでは提出者の作品を返却する場所と時間をもう少し詳しく伝えた方が良いと思います。そして提出者を増やすため、全体的にアート&デザインコーナーの募集にさらに力を入れた方がよいと思います。



JET Art & Design Exhibit

Mingming Sun (China)

Lucas Carmichael-Tanaka (USA)

This year we once again hosted artistic submissions from JET participants. A total of 12 works from four different artists were displayed, including digital artwork, watercolor pieces, sketches, and several haiku poems in both English and Japanese.

Almost all of the artists who submitted work this year volunteered at the Art & Design Exhibit and were able to take their submissions home during cleanup. The one artist who did not volunteer was not present at the event, so their acquaintance took their piece home for them. For future JET Fests, it would be wise for us to provide more details on where and when submitted art will be returned to participating artists. Furthermore, to increase the number of participating artists, it would be beneficial to put more effort overall into soliciting submissions for the Art & Design Exhibit.



写真コンテスト

孫明明（中国）

ルーカス カーメイケル・タナカ（アメリカ）

今年も写真コンテストを開催しました。今年の写真コンテストのテーマは去年に引き続き「#Toyamazing #Amazingworld」（#素晴らしい富山 #素晴らしい世界）で、このテーマに応じて富山県に関係がある写真や、世界のあらゆるところの写真を提出していただきました。提出された写真は91枚（その中の40枚は県の提携友好都市から提出された）になり、去年に比べると写真の数がずいぶん増加しました。全写真を掲示するために13枚のパネルを使用しました。写真コンテストをアピールするため、県内に住んでいる外国人のSNSコミュニティにも連絡しました。また、JET世界まつりのポスターに募集QRコードを印刷しました。写真はパネルに展示し、どこで撮られたのかをわかりやすくするために世界地図と日本地図と富山地図の3枚の地図を準備し、机の上に張り、写真の撮られた位置にステッカーを張り付けました。多くの写真は富山県の写真でしたが、日本の他の都道府県や世界の色々な所からの写真も多くありました。

写真の投票も去年と同様にオンラインで行われました。来場者は事前に用意したQRコードを利用し、投票用Google Formを通して気に入った写真に投票しました。自分の携帯電話を持っていない場合、スタッフの携帯から投票入れました。投票が完了した来場者には受付で見せたらプレゼントがもらえる「投票完了」のカードをさしあげました。最も多くの票が投じられた写真は最優秀賞に、2番目に多く票が投じられた写真は優秀賞に、3番目に多くの票が投じられた写真は佳作となりました。今年投票の結果、最優秀賞1名、優秀賞1名、佳作2名が選ばれました（最優秀賞：The絶景じゃん、優秀賞：富山の本気、佳作：行けピカチュ、君に決めたんだ / 泳いでる）。受賞者にはAmazonのギフトカードをお贈りしました。提出された写真はすべてJET世界まつりのホームページにて閲覧できます。

来年度以降の写真コンテストに向けての改善点として、次のことがあります。それは、印刷した写真を引き取る希望があるかどうかを提出者に確認することです。コンテスト終了後、作品を直接お返しすることも可能であることを事前に伝えられればよいと考えています。



最優秀賞 First Prize

「The 絶景じゃん」

“That Spectacular View”

By さとうかりん (Satou Karin)



優秀賞 Second Prize

「富山の本気」

“Toyama’s True Spirit”

By Yuki



佳作 Honorable Mention

「いけピカチュ、君に決めたんだ」

“Go Pikachu! I choose you!”

By Танчик (タンチイク)



佳作 Honorable Mention

「泳いでる」

“Taking a Swim”

By Yasmin

Photo Contest

Mingming Sun (China)

Lucas Carmichael-Tanaka (USA)

The Photo Contest returned for JET World Festival 2024. This year, we continued last year's theme of "#Toyamazing, #AmazingWorld" and accepted photos taken from anywhere in the world. We received a total of 91 submissions (including 40 from Toyama's sister states), which was considerably more than last year. We set up 13 panel boards to display the photos. We also exhibited maps of Toyama Prefecture, Japan, and the world. For each photo, we placed a sticker on the appropriate map to indicate where it was taken.

To attract submissions, we reached out to Toyama's foreign residents through various social media platforms and included a QR code for submissions on the official JET World Festival poster.

As with last year, we conducted voting online through a Google Form. On the day of the event, we prepared several posters with QR codes linking to this form, and guests were free to cast votes from their mobile devices. Guests without a device were able to cast their votes from the phone of a staff member. To encourage voting, we offered guests who voted a voucher that they could redeem at the festival reception desk for a small prize (which required the completion of an additional survey).

First- and second-place prizes and two honorable mentions were awarded to the entrants whose photos received the most votes (first place: "That Spectacular View," second place: "Toyama's True Spirit," honorable mentions: "Go! Pikachu! I choose you!" and "Taking a Swim"). Winners received an Amazon gift card. All submissions are available to view on the JET World Festival website.

Next year's Photo Contest could be improved by asking entrants if they want to keep their printed photos. They should be informed that organizers can return their photos to them directly once the contest ends.

JET 世界まつり 2024 プログラム

JET World Festival 2024 Program



2024 JET 世界まつり
JET WORLD FESTIVAL 2024
2024年2月18日(日) Sunday, Feb 18th, 2024

3F 305 ミニ言語カフェ Mini Language Cafe

時間 Time	講座・発表 Title	発表者 Presenter
11:30-12:00	言語① ヒンディー語 Hindi	シリ・バーガワトゥラ Siri Bhagavatula
12:15-12:45	言語② 韓国語 Korean	ヘミン・イ HaeMin Lee
13:00-13:30	JETトーク「アメリカの建国の父: ジョン・アダムズ」 JET Talk "America's Founding Father: John Adams"	シドニー・ゲイツ Sydney Gates
13:45-14:15	JETトーク「マルチリンガルな脳と 言語習得の秘密」 JET Talk "The Multilingual Brain and Secrets to Language Acquisition"	ジョシュア・ガルシア Joshua Garcia
14:30-15:00	言語③ ベトナム語 Vietnamese	チン・トワイ・ズン Trinh Thuy Dzung
15:10-15:40	言語④ スペイン語 Spanish	ジョズィ・ロザレス Josi Rosales

3F 307&308 国際ブース International Booths

ブラジル Brazil	エルサルバドル El Salvador	ジャマイカ Jamaica	英国 UK
カナダ Canada	アイルランド Ireland	ロシア Russia	アメリカ USA
中国 China	インド India	南アフリカ South Africa	ベトナム Vietnam
インドネシア Indonesia	韓国 South Korea	アメリカ・オレゴン州 State of Oregon, USA	

高岡市国際交流協会 Takaoka International Exchange Association
高岡市友好交流協会 Nanto Goodwill Exchange Association
AJET 富山雑誌 The TRAM
AJET Toyama's The TRAM Magazine

3F 307&308 イングリッシュチャット English Chat

富山県各地の学校で活躍しているALT(外国語指導助手)の方と英語で楽しく話しましょう!
Speak English with ALTs from various countries working in schools all over Toyama Prefecture!

主催: AJET JET 世界まつり2024実行委員会
Organizers: AJET JET World Festival 2024 Executive Committee
E-mail: toyama.jet.festival@gmail.com

2F

ホール Hall

ステージ パフォーマンス Stage Performances
アート&デザイン展 Art & Design Exhibit
写真コンテスト展 Photography Contest Exhibit

3F

研修室303 Room 303	世界いろいろ体験コーナー Multicultural Workshops
研修室304 Room 304	キッズコーナー Kids' Corner
研修室305 Room 305	ミニ言語カフェ Mini Language Cafe
研修室 307 & 308 Room 307 & 308	国際ブース International Booths イングリッシュチャット English Chat

2F ホール Hall アート&デザイン展 Art & Design Exhibit
写真コンテスト Photography Contest

アート&デザイン展では、JET参加者が創作した美術品やデザイン作品を展示します。JET世界まつりの写真コンテストに提出された写真も展示中です。受賞作品は投票により決定します。ぜひ投票をしてください!

The Art & Design Exhibit showcases artwork and design items created by Toyama JETs. You can also admire all the photos submitted to the JET World Festival Photo Contest. Don't forget to vote for the best photos!

11:00 開会(Doors Open) 16:00 閉会式(Closing Ceremony)

受付: 2Fホール前&3Fエレベーター前
Welcome Desk: 2F Outside The Hall & 3F Elevator Landing

2F ホール Hall ステージパフォーマンス Stage Performances

時間 Time	演目 Title	出演者 Performer
11:15	開会式 Opening Ceremony	
11:15-11:40	ピアノと三味線演奏 Piano and Shamisen Performance	ウエイジア・ジュー Wei Jia Zhu 玉葉会 琴 満葉 Tamaha-kai Tade Manyo
11:45-12:05	居合道演武 Iaido Demonstration	富山県剣道連盟居合道部 Toyama Kendo Federation Iaido Club
12:15-12:45	琴演奏 Koto Performance	Let's 琴! Let's Koto!
13:00-13:30	3ヶ国語でカントリー・ロード Country Road in 3 Languages	ラス・フラマス・デ・トヤマ Las Flamas de Toyama
13:30-14:00	マジックショー&ジャuggling! Magic Show & Juggling!	Mr. ノリック Mr. Norick
14:05	ファッションショー Fashion Show	
14:30-15:00	フォーク・ブルース曲演奏 Appalachian Folk & Blues	アンア・アダムズ Anna Adams
15:00-15:20	ベトナムダンス演奏 Vietnamese Dance Performance	富山県ベトナム人協会 Toyama Prefecture Vietnamese Association
15:20-15:45	ボイブンバ(アマゾン地域民族ダンス) Boibumba (Traditional Amazonian Dance Performance)	manawara (マナワラ)
15:45	閉会式 Closing Ceremony	

3F 303 世界いろいろ体験コーナー Multicultural Workshops

アクティビティセッション Activity Sessions	担当者 Presenter
11:00-11:30 メキシコフォークダンス Mexican Folk Dance	ジェネシス・ベリオス Genesis Berrios
11:40-12:10 ブラックアメリカンヒップホップラインダンス Black American Hip Hop Line Dance	Sa Mekh Harris Reed セミカ・ハリス・リード
13:00-13:35 ベトナムバンブーダンス Vietnamese Bamboo Dance	Nguyen Ngoc Thanh Luan グエン・ゴック・タン・ルアン
13:45-14:20 基本的なスクウェアダンス Simple Square Dance	モリー・ブライアント Molly Bryant
14:40-15:10 ケベック州の民族舞踊 Québec Folk Dance	ウエイジア・ジュー Wei Jia Zhu

クラフト作りセッション Craft-making Sessions			
11:00-12:20	12:40-14:00	14:20-15:40	14:30-15:40
モタンカ人形 Motanka Dolls タチアナ&オリガ Tatiana & Olha	ランタン Vietnamese Lantern チン・トワイ・ズン Trinh Thuy Dzung	ヘナ体験 Henna Session ゾレイズ・サヘル Zoriz Saher	アッパラチアンキルト Appalachian Quilt クラ・アレクサンダー Tara Alexander
クルピラ&サシ・ペレレ Curupira & Saci Perere エリザベス・若井 Elizabeth Waki	灯籠 Chinese Lantern 孫明明 Mingming Sun	砂絵体験 Kolam Drawing シリ・バーガワトゥラ Siri Bhagavatula	

全てのプログラムが当日変更になる場合がございますので、会場にてご確認ください。

3F 304 キッズコーナー Kids' Corner

ゲーム Games		
11:00-15:40	ツイスター Twister	トゥホ Tuho/ Pitch-Pot
11:30, 12:00, 12:30, 13:00, 13:30	かえるさんジャンプ Frog Jump	
	忍者ゲーム Ninja Game	


活動 Activities

11:00-15:40
パズル Puzzles
ビーズアート Bead Art
スノーフレーク作り Paper Snowflakes

体験 Experiences

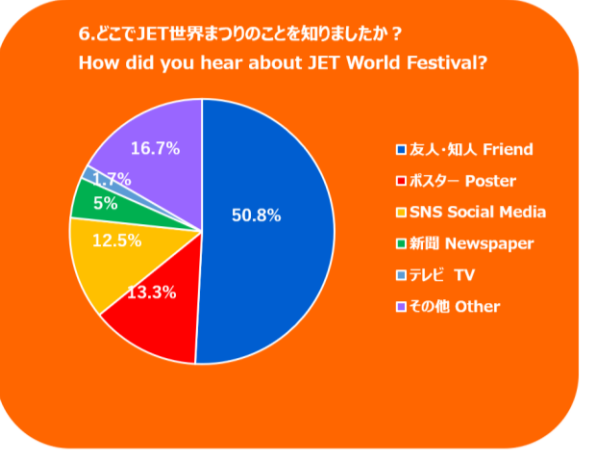
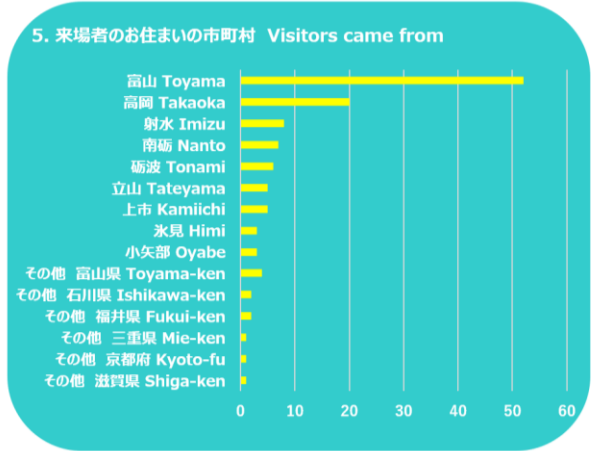
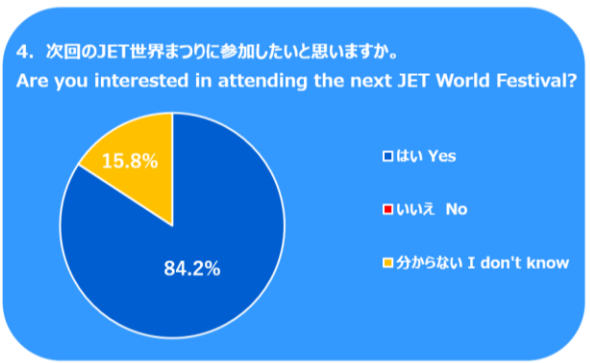
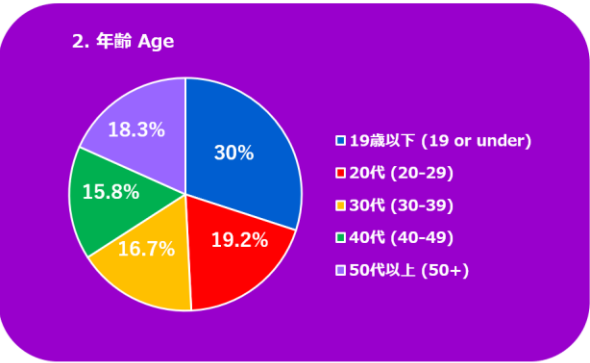
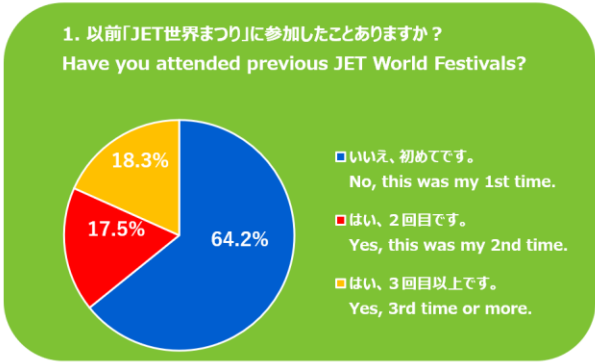
12:45-14:00	14:00以降	14:00 Onwards
フェイスペインティング Face Painting	マジックショー Magic Show	風船アート Balloon Art
オリガ・オルロヴァ Olha Orlova	Mr. ノリック Mr. Norick	

Facebook ページを「いいね!」
Like our page!



JET 世界まつり 2024 アンケート

JET World Festival 2024 Survey



アンケート調査回答
Survey responses

120

評価 Average

56.7% とても満足！ Super Satisfied!	33.3% 満足 Satisfied	10% 普通 Neutral
★★★★★	★★★	★★★

来場者の感想

いろんな国のことが知れて、体験もできてとても楽しかったです

子どもが英語好きなので、実際に海外の人たちと触れ合える機会ができて嬉しい。このような貴重な体験がもっと増えると嬉しいです。

毎年楽しみにしています！ 準備や運営おつかれ様です。
Thank you so much. I enjoy it a lot!

小唄の「味」と日本語の他の国の言葉で唄っていたのが、すごくよかった。

いろいろな国の人と話すことができうれしかったです。

Visitor Feedback

Thank you !! We really enjoyed this festival. Thank you for preparing for this. Enjoy Toyama.

いろんな国のことを知ることが出来て、楽しかったです。外国の方達が富山での生活を楽しんでいらっしゃることを知りうれしかったです。

皆さんやさしく国のことについて教えてくださいました。ありがとうございます。このような機会があるのは楽しいです。絵もみやすく良かったです！

アメリカン、ブラックヒップホップ参加して楽しかったです。

三味せんのうたの解説がおもしろかった。

来場者の提案

今回は、TVなどお知らせが無かったような気がします。

各国のお菓子の無料配布復活してほしい。

ロシア語トークがあってほしい

Visitors' Suggestions

参考資料

● 「語学指導を行う外国青年招致事業（JET プログラム）」について

JET プログラム（The Japan Exchange and Teaching Programme）は、総務省、外務省、文部科学省の協力のもと、地方公共団体（都道府県、政令指定都市及び市町村）が外国青年を招致する事業で、外国語教育の充実をはかるとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的としています。これまでに日本全国で世界75ヶ国から70,000人以上の外国青年を招致している世界最大規模の交流プログラムです。2023年で37年目を迎えました。

JET 参加者の職種と職務

国際交流員 CIR : Coordinator for International Relations 県庁や市役所等で国際交流や異文化理解の活動の補助や協力をしています。
外国語指導助手 ALT : Assistant Language Teacher 小・中学校、高等学校等で外国語の授業・活動の補助や地域の国際交流活動の協力を行います。
スポーツ国際交流員 SEA : Sport Exchange Advisor 地域・学校等におけるスポーツ指導への協力を行っています。 (※現在富山県内には配置なし)

● 富山県内の JET 参加者について

富山県では、昭和63年度に外国語指導助手5名を招致して以来、多くの外国青年を受け入れてきました。令和5年度は100名のJET参加者を招致しました。

招致人数推移

年度	昭63	平5	平10	平15	平20	平25	平30	令1	令2	令3	令4	令5
CIR	0	0	13	13	12	10	11	12	9	10	10	12
ALT	5	7	114	118	85	80	84	88	62	74	88	88
SEA	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	7	131	136	97	90	95	100	71	84	98	100

国別招致者数（令和5年度）



出身国	人数
アメリカ	66
イギリス	10
カナダ	4
南アフリカ	4
フィリピン	3
中国	2
アイルランド	2
ジャマイカ	2
ニュージーランド	1
オーストラリア	1
ブラジル	1
韓国	1
インド	1
ベトナム	1
ロシア	1

● 「JET 世界まつり」について

県内で活躍している JET プログラム参加者たちが中心となり、出身国・地域についての紹介やステージ発表などを通して、県民の異文化理解を深め、県民と JET プログラム参加者の交流を図る目的でスタートし、**今回で 29 回目を迎えました！**

年	市町村	会場	年	市町村	会場
1996	黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ	2012	高岡市	ウイング・ウイング高岡
1997	高岡市	ふれあい福祉センター	2013	黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ
1998	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ	2014	富山市	富山市民プラザ
1999	小矢部市	クロスランド小矢部	2015	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ
2000	婦中町	婦中町ふれあい館	2016	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ
2001	黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ	2017	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ
2002	新湊市	新湊市中央文化会館	2018	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ
2003	高岡市	ふれあい福祉センター	2019	富山市	富山国際会議場
2004	魚津市	魚津テクノスポーツドーム ありそドーム	2020	富山市	タワー111
2005	福岡町	福岡町総合町民センター Uホール	2021	南砺市	福野文化創造センター ヘリオス
2006	滑川市	サン・アビリティーズ		高岡市	ふくおか総合文化センター Uホール
2007	富山市	富山市民プラザ		黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ
2008	射水市	アイザック小杉文化ホール ラポール	富山市	富山ステーションフロント CiC3階	
2009	黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ	2022	高岡市	ウイング・ウイング高岡
2010	高岡市	ウイング・ウイング高岡	2023	富山市	富山国際会議場
2011	富山市	グランドプラザ	2024	富山市	富山県民共生センター サンフォルテ

- 「とやま名誉友好大使」について

富山県を広く外国に紹介するため、適任と思われる本県在住外国人の方が帰国される際、「とやま名誉友好大使」の称号を授与し、諸国と富山県との「架け橋」として活躍してもらっています。これまでも多くの JET 参加者が名誉友好大使に委嘱されています。

- AJET (The Association for Japan Exchange and Teaching)

JET 参加者で作る親睦団体で、富山県の AJET は全国でも活動が盛んだと言われています。JET 世界まつりをはじめとして、広く県民のためとなる活動を行っています。

JET プログラム等に関する詳しい情報は・・・

- JET プログラムのページ：（公財）自治体国際化協会

<http://jetprogramme.org/ja/>

- 富山県国際交流員ブログ

<http://toyamacir.net/>

JET プログラムで来県している国際交流員の活動を紹介します！

JET 世界まつり 2024 実行委員紹介



Haemin Lee
(South Korea)

県国際課 韓国国際交流員 イ ヘミン



Q: 出身地は？

A: 江原道三陟市！富山県の黒部市と交流しているところです。海と山があって自然環境が富山と似ています。

Q: 富山に住んで変わったことは？

A: お刺身やお寿司など海産物をよく食べるようになったこと。韓国ではお魚が美味しいと感じることがあまりなかったのですが、富山のお魚はとても美味しく、よく食べるようになりました！

Q: 富山で好きなところは？

A: 雨晴海岸が好きです。韓国の東海岸とも景色が似ていて、なんだか懐かしい気持ちになります。



Alice Rees
(USA)

県国際課 英語圏国際交流員 アリス リース



Q: 出身はどこですか？

A: アメリカ合衆国の南西部にあるニューメキシコ州のサンタフェ市です！アメリカの最古州都で、メキシコと先住民の文化が交わって不思議な街です。砂漠に見えますが、冬に雪が降りますよ！

Q: 母国名がタイトルに入っているトップ5の歌は？

A: アメリカが出る歌はたくさんありますが、私のプチプレイリストは：テイラー・スウィフトの「the last great american dynasty」、オリヴィア・ロドリゴの「all-american b****」、ドン・マクレーンの「American Pie」、テイラー・スウィフトの「Miss Americana and the Heartbreak Prince」、グリーン・デイの「American Idiot」ポップスやロック音楽が好きの方、ぜひ聴いてみてください！

Q: 富山での生活で一番びっくりしたことがありますか？

A: CIR 一年目の時に「スプリンクラー」って呼びましたが、去年からは「融雪」という名前を付けている路上や普通の道に設置してあるものの存在に非常にびっくりしました。最初に路上の照明が何かだと思い込んだが、冬になったら水が出てくることを見てショックでした！そして、通りかかっている時に何度も濡れてしまいました…アメリカでは普通に塩や砂をばらまいて雪を解かすが、富山は水が多すぎて融雪に使われていることがすごいです。



Jadon Ricci
(USA)

入善町 国際交流員 ジェイデン リッチ



Q: アメリカのどこの出身ですか？

A: ニューヨーク州です！

Q: 来日してからはじめたことがありますか？

A: 大学生の時から深く日本の歴史や宗教に関する興味を持っていて、日本に住み始めてから色々なお寺や神社に行って御朱印も集め始めました。もうすぐ4冊目は完成だから5冊目の御朱印帳を買わなければなりません！

Q: 日本語を勉強するきっかけはなんですか？

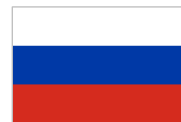
A: いつも言語全般に関心を持って、大学に入って言語を勉強したいことがはっきり分かったけど、日本語を決めたのは日本文学や日本の映画にかなり興味があって、原文も分かるようになったからです。

JET 世界まつり 2024 実行委員紹介



Tatiana Borduleva
(Russia)

県国際課 ロシア語国際交流員 ボルデゥリョワ タチアナ



Q: 出身地はどこですか？

A: 出身はシベリアのノボシビルスク市ですが、もう何年間にわたって沿海地方のウラジオストクシに住んでいます。
沿海地方と富山県は友好提携があり、様々な分野における交流を定期的に行われています。

Q: なぜ日本に来ました？

A: 小さい頃からアジアの国が魅力的だと思いました。そして、大学で日本語を専攻して、日本への留学、インターンシップや仕事で実際に日本に滞在し、非常に感動しました。本来も日本語に関わる仕事をしたいと思います。

Q: 夢は何ですか？

A: 小さな旅館かチーズ料理のお店を開業したいと思います



Grant Lloyd
(USA)

南砺市国際交流員 グラント ロイド



Q: 出身は？

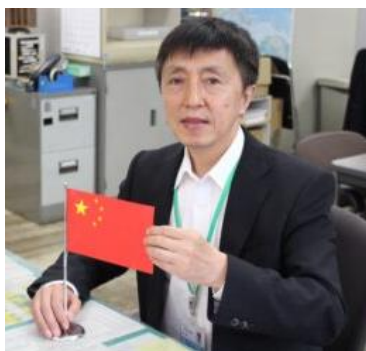
A: アメリカ南部テキサス州にあるヒューストンです！スペースセンターが有名です。

Q: 日本の食べ物で一番好きなのは？

A: トンカツ！いろんなアレンジが日本全国にあるので、旅行に行くときは現地のトンカツを食べてみるのが楽しみの一つです。

Q: 富山に来てから思い出に残るエピソードは？

A: 立山に登ったときです。出身地には山がないのでそれまで山登り・山歩きをしたことがなく新しい経験でした。雄山山頂に神社があるのに驚きました。おまけに雷鳥やカモシカも見られてラッキーでした。



Zou Chao
(China)

県国際課 中国国際交流員 スウ チョウ（鄒 超）



Q: 出身はどこですか？

A: 中国遼寧省瀋陽市です。

Q: 富山での生活でびっくりしたことがありますか？

A: 富山の雪が故郷の雪と随分違います。(水分が多すぎ)

Q: 富山に来てから思い出に残るエピソードがありますか？

A: 2024年元日の地震です。(富山県民の防災意識の高さに印象的)

JET 世界まつり 2024 実行委員紹介



Mingming Sun
(China)

県国際課 中国国際交流員 ソン メイメイ (孫明明)



Q: 出身はどこですか？

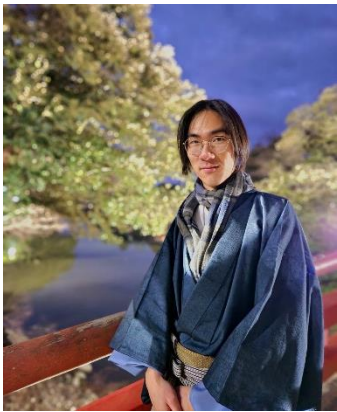
A: 中国上海市からまいりました。

Q: 富山での生活でびっくりしたことがありますか？

A: 富山は本当に静かなところだと思います。大型ショッピングモールにも7時ぐらい閉店します。(中国では普通9時以後閉店する店が多いです。)また、住宅の近くにも、とても静かです。(中国の住宅の近くには、近隣たちがいつも外で話し合い、子供たちは外で遊んで、とても賑わいです。)本当に驚きました。

Q: 富山に来てから思い出に残るエピソードがありますか？

A: 富山に来てから、新しい友達が出来て大変うれしいです。友達と一緒に富山のあちこちに観光に行きました。雨晴海岸、岩瀬浜などの自然風景を実感しただけでなく、富山祭り、おわら風の盆など伝統的な文化も体験しました。また、富山の鮎などのグルメもとても好きです。これらは、私にとって思い出に残り、また、記憶に残る貴重な体験だと思います。



Preston Poon
(Canada)

高岡市国際交流員 プレストン プーン



Q: 出身はどこですか？

A: カナダの西側、アルバータ州エドモントン市から来ました！寒いところですよ。ほぼ毎年12月・1月の最低気温はマイナス40℃ぐらいです。

Q: フランス語・中国語も喋られますか？

A: カナダの西側はほとんど英語ですから全く話せません。フランス語を一切勉強したこともありません。申し訳ないです。

Q: 富山に来てから思い出に残るエピソードがありますか？

A: JET プログラムオリエンテーションの立山登りですね。何故かという、出身地のアルバータ州はカナディアンロッキー山脈があるから懐かしい気分になっちゃいました。



Lucas Carmichael-Tanaka
(USA)

黒部市国際交流員 ルーカス カーマイケル・タナカ



Q: 出身はどこですか？

A: 生まれ育ちはアメリカのミネソタ州です。ミネソタ州はアメリカの中西部の北にあり、五大湖とカナダの国境の隣です。自然が美しく「一万の湖がある地」とも呼ばれています(本当は11,842あるけど)。

Q: 富山での生活でびっくりしたことがありますか？

A: 真冬に道路から水が出るのかな… 地元では気温が本当に低すぎて、そうやって水を出すと全て凍ってしまうのだ。だから少しびっくりしました。

Q: 富山に来てから思い出に残るエピソードがありますか？

A: 能登半島地震のことだね。アメリカにはあまり地震がないし、北陸地方も地震が少ないと聞いたから、まさかお正月に起こるなんて…そして、人生初めて避難しました。幸いにも黒部での被害は少なくてよかったです。



JET世界まつり2024 報告書



A Report on the JET World Festival 2024

